

- ✓ 2024 年度森林アカデミー開講！
- ✓ 事業活動報告  
ゼロエミッション研究会
- ✓ 事業活動報告  
森林保全活動 日向の森、海上の森



## トピックス

### 2024 年度森林アカデミー開講！

2024 年度、SEF では森林再生事業において新たな取り組みとして、「森林アカデミー」を開講します。

今まで資源循環事業では、「ゼロエミッション研究会」を開催し、一つの地域で食品リサイクルループを構築するために年6回の研究会を通して、食品リサイクルの法体系から仕組みづくりを学び、参加企業とともに食品リサイクルループ構築を実践してきました。

今回、森林再生事業でも同様に「森林アカデミー」を開催します。「森林アカデミー」は、森林再生保全を通して、生物多様性の保全や脱炭素への貢献を体系的に学び、それらを企業が実践する中で、自然共生サイトへの登録、TNFDなどの情報開示を企業価値の向上につなげていく勉強会です。一つの地域をテーマの地域として、年6回の勉強会を通して、企業がなぜ今森林に関わるのか、自社でどのように森林

と関わり、活用できるのかを「森林アカデミー」で会員企業の皆様と学び、ともに取り組んでいきたいと考えています。2024 年度は、SEF が 2012 年から活動を続けてきた日向の森をテーマに勉強会を行いながら、自然共生サイト申請・登録を目指します。日向の森では、ボランティアの方々とも草刈りや除伐、間伐を行い、SEF のイベントとして年1回植樹会を行っています。生物調査も季節に応じて実施し、調査で発見された外来生物は林内の生態系の保全にとって大きな問題となる場合、駆除を行い、在来生物が住み続けられる環境がつけられています。企業の森活動の参考になる取り組みを長年行ってきたので日向の森をモデルに自社の活動イメージにつなげられればと考えています。

### 2024 年度 森林アカデミー 概要

第1回 4月25日(木)

#### 「なぜ今、企業が森に関わるのか」

講師：SEF 顧問 / 株式会社モリアゲ代表取締役 **長野麻子様**

第2回 6月27日(木)

#### 「企業の森活動の実践と研修での活用について」(仮)

講師：三重県林業研究所 **佐野正和様**

第3回 8月28日(水)

#### 「ネイチャーポジティブ経営と森林活動の重要性」

講師：日経 ESG シニアエディター / 東北大学教授 **藤田香様**

第4回 10月16日(水)・17日(金) 陸前高田実地研修

第5回 12月20日(金)

第6回 2月21日(金)

※別途日向の森での実地研修予定

### 森林アカデミープレ開催実施！

2月29日(木)、千葉県山武市の日向の森で2024年度に実施する森林アカデミーのプレ開催を行いました。現地で企業の森活動をどのように実践できるのか、森林再生保全は森林組合の那須様、生物多様性は自然調査員の安部様に講師を務めていただき、間伐体験や生態系の保全を学んだあと、長野顧問の講演を聞き、企業がどう森に関わるのかをイメージする勉強会を行いました。



<ゼロエミッション研究会とは>

当財団では、ゼロエミッションの実現に向けて、2017年より食品小売業・外食産業の店舗から発生する廃棄物(特に食品循環資源)の発生抑制・資源循環・適正管理の手法を学ぶ場として、「ゼロエミッション研究会」を開催しています。

## 第6回ゼロエミッション研究会

3月28日(木)2023年度6回目となるゼロエミッション研究会を開催しました。71名の方にZOOMとのハイブリット勉強会にご参加いただきました。今回は毎年恒例となる農林水産省、環境省の講演でした。リサイクル関連法令の最新情報の共有もあり、今後の動向がわかる勉強会となりました。

### 食品ロス及びリサイクルをめぐる 最新の動向と情勢

農林水産省 外食・食文化課 食品ロス・リサイクル対策室  
大嶋 耕造 氏

第4回ゼロエミッション研究会では、排出事業者の社内で食品リサイクルを推進する立場の方も多くいることから企業事例の共有をテーマに、ワタミの店舗で分別・計量の定着、食品リサイクルにかかるコストの抑制の実践など実際にどのように現場へ落とし込んで推進したのかをお話いただきました。



### 循環経済(サーキュラーエコノミー)と 食品リサイクル

環境省 環境再生・資源循環局  
リサイクル推進室・循環型社会推進室  
室長代理 金井 信宏 氏

廃棄物の適正処理から循環型社会の成り立ちまでお話しいただき、循環経済(サーキュラーエコノミー)の状況と環境省が現在取り組んでいることをご共有いただきました。サーキュラーエコノミーは大きな課題であり、勉強になりました。また、食品リサイクル促進について、廃棄物行政の視点や食品ロス削減の施策、今後環境が大きく取り組んでいくデコ活についてなどご講演いただきました。



## New! 2024年度ゼロエミッション研究会 参加者募集

### 【日程】全6回

- 第1回 5月23日(木)
- 第2回 7月18日(木)
- 第3回 9月19日(木)
- 第4回 11月21日(木)
- 第5回 1月23日(木)
- 第6回 3月27日(木)

【勉強会 会場】ワタミ株式会社 東京(大鳥居)本社

【参加費】70,000円

※賛助会員(民間団体)は無料

※別途:見学会交通費、遠方への個別相談時交通費

### 【講師】

- ・百瀬 則子氏  
(SEF業務執行理事、ワタミ株式会社SDGs推進本部長)
- ・志岐 秀明氏  
(SEF理事、株式会社ガイドリーム相談役)
- ・牛久保 明邦氏  
(SEF顧問、東京農業大学名誉教授)

ほか、資源循環・廃棄物関連専門家多数登壇予定

★概要をご確認のうえ、SEFホームページからお申込みください。 <https://save-earth.or.jp/archives/8599>



2024年1月から3月の森林保全活動 2024年3月31日現在

活動日	場所	イベント	参加人数	
1月	20日	海上の森	定例保全活動	16名
	27日	日向の森	定例保全活動	20名
2月	17日	海上の森	定例保全活動	13名
	24日	日向の森	定例保全活動	18名
3月	9日	日向の森	定例保全活動	10名
	23日	日向の森	定例保全活動	9名

2023年4月～2024年3月末までの累計

日向の森 **351名** あいち海上の森 **75名**

### ◎日向の森(千葉県山武市) 活動報告

1月27日、新年最初の活動では、参加者20名と大人数で開催することができました。

特に、生物部所属の高校生2名が水生生物調査に積極的に参加してくれたことで、他のボランティアへ生物捕獲や生物の判定の仕方をレクチャーしながら作業してもらえました。生物に詳しくなくても、教えてもらうことで興味や面白さがわいてきます。

捕獲した結果、7種の生物を溜池から捕獲することが出来ました。ゲンゴロウ・ドジョウ・ヒメタガメ・カワナナ・ミズムシ・ヤゴ・稚アメリカザリガニが発見されました。ほかに分かったことは、たくさん捕獲されたアメリカザリガニはおらず、今回稚アメリカザリガニしか捕獲されませんでした。

除伐作業では、サンブスギを一本倒しそれを使って薪割を行いました。手斧を使った作業は広背筋や腰を使いますので、非常に良い運動になったとのことでした。

また、昨年植樹した斜面にあり、溝腐れ病が進行していたヒノキ1本と林道に斜めに倒れそうなヒノキを1本伐採しました。10名で作業を行ったので、木を伐採した後の撤収作業は非常にスムーズにできました。



### ◎海上の森(愛知県瀬戸市) 活動報告

1月20日は終日雨のため、木工室でベンチ作成しました。海上の森の間伐材を、ロープに巻き付け人力で木工室へ運び、室内で作業できるようにしました。

今回はベンチを2台作成するため、丸太を16本使用しました。まずは、すべて皮を剥ぎ、人が腰かけるための材と脚にする材を、規定の長さにするため、ノコギリで切っていました。午後は、脚組を作るため、三本の木にペグを打ち付け、さらに脚組と腰かける材をつなげるため、窪みを掘る作業を行いました。1日がかかりで作成し、それだけ手作業で物を作ることが大変だということを知りました。また、参加してくれた小学生は、最初は慣れない手つきでノコギリを使っていましたが、終わるころには綺麗なノコギリの切り方を覚えていました。学校では刃物を使うことはほとんどないので、よい体験をしてもらえたと思います。15時から全員で海上の森をどんな森にしていきたいのかを話し合いました。

海上の森の地図を参考にこれまで作成したベンチや階段、そして看板の位置、一般登山者が使う道、植物観察をした場所が記され、それを見ながら今までの活動を振り返りました。そのあとで、この先はどんなことをしたいのか、どんな森にしたいのか意見を出し合いました。

みんなが休める東屋や、テーブルがほしい。子どもが遊ぶ滑り台などアスレチックを作りたい。野鳥を観察したい。天然記念物であるギフチョウが繁殖できる森にしたいなど、発想豊かな意見がたくさんありました。みんなの意見を参考にワタミの森づくりを進めていきたいと思います。24年度は、今までより多く間伐していくので、間伐材を応用したくさんの人が滞在できる森づくりを進めていきたいと思います。





## SEFでは、各地域での森林保全活動をお手伝い頂けるボランティアさんを募集しています。

千葉県山武市では原則として毎月第2・第4土曜日に定例活動を行っているほか、他地域でも年数回の活動を実施しています。

なお、活動実施にあたり感染症の拡大防止に最大限の配慮を講じてまいります。

下記リンクから確認事項等ご参照のうえ、ご参加をお願いいたします。

<https://save-earth.or.jp/archives/6783>

### <2024年4月/5月/6月の活動予定>

#### ●千葉県山武市(日向の森)

※引き続き、2018年の台風15・19号による被害を受けた人工林の復旧作業を中心とした活動を予定しています。

5月11日(土)、5月25日(土)

6月15日(土)、6月29日(土)

#### ●愛知県瀬戸市

(あいち海上の森)

4月27日(土)

#### ●兵庫県丹波市

(ウッディミナミの森)

6月22日(土)

※その他地域での活動予定については、SEF ホームページをご覧ください。

活動の詳細、お申込みはコチラ [▶▶ https://save-earth.or.jp/event](https://save-earth.or.jp/event)

## 賛助会員・サポーター入会のご案内

SEFの活動は、皆さまからのご支援に支えられています。

「美しい地球を未来の子どもたちに残したい」。この思いにご賛同いただける皆様のご入会をお待ちしております。

企業・団体	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品リサイクルループ構築支援</li> <li>・「企業の森づくり活動」支援</li> <li>・廃棄物法令、食品リサイクル、廃棄物管理等の専門家による助言・指導</li> <li>・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待</li> </ul>		
	会員区分 年会費	特別賛助会員	1 □	500,000 円
個人	会員区分 年会費	賛助会員	1 □	50,000 円
		資源循環サポーター	1 □	50,000 円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1 □	50,000 円(森林再生事業に用途を限定)
	会員特典	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゼロエミッション研究会」など、各種セミナー等へのご招待・ご優待</li> <li>・森林ボランティア活動参加者に千葉県産サンプスギ製「サポーター登録証」を発行</li> </ul>		
		賛助会員	1 □	10,000 円
		資源循環サポーター	1 □	1,200 円(資源循環事業に用途を限定)
		森林再生サポーター	1 □	1,200 円(森林再生事業に用途を限定)

ご入会のお申込みはこちらから→<https://save-earth.or.jp/member/apply>

